

◎治水問題の対策はどうか

問 蟹田川、松橋川の現在までの対策と今後の計画はどうか。

答 蟹田川の改修を、彦島大橋から上流松橋川の合流地点まで630メートルを引き続き行う。松橋川の改修も今年度は現地測量と改修計画の作成を行う。

◎青少年の薬物問題予防対策はどうか

問 薬物乱用予防について、学校内及び地域内での教育・啓発はどうか。

答 学校では、学校薬剤師や警察職員を講師に薬学講座を開催している。また、地域においては、ライオンズクラブの協力により、各地の研修会で薬物乱用防止の講演会を開催している。

◎地域の建造物を再認識してはどうか

問 身近な文化財を見直し、歴史的な価値の再確認をしてはどうか。

答 指定文化財については、文化財説明板を設置し、冊子「新・袋井の文化財」の発行や、秋には「袋井市文化財展」を開催する。



彦島大橋から蟹田川の上流を望む

◎特養の入所待機などの取り組みはどうか

問 特別養護老人ホームの入所待機と介護支援ボランティア制度の活用はどうか。

答 介護保険事業計画に沿った整備として、平成25年度までに140床増床する計画を進める。県内初導入のボランティア制度は、今後介護施設だけでなく、在宅支援にも広げ、男性にも広く呼び掛ける。

◎宣伝隊支援事業は、どうなっているのか

問 ラッピング車両の手配と今後の経費の負担はどうするのか。

答 特産品のメロンや花火など本市をアピールするイラストや写真でラッピングした2メートルトラックと29人乗りバスを7月末までに購入し、車検や保険料は今後市が負担する。

◎市の木、花、鳥のPRはどうか

問 キャラクターやイメージデザイン、着ぐるみ等どうなっているのか。フクロウの生息地保護が必要と考えるが。

答 年内には各デザインを決定し制作する。フクロウが生息できる自然環境を後世に引き継いでいけるよう、市を挙げて環境の保全に努める。



市の木・花・鳥